

第13号 (2014年度 後期)

養寿寺だより

発行日 平成27年1月1日
 編集・発行 真宗大谷派 養寿寺
 〒473-0924 豊田市花園町屋敷56
 TEL&FAX (0565)52-4470
 E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp
 ホームページ 花園町養寿寺で検索

花園町養寿寺

検索

あじのままで

正直に言っておきます。私はあの『アナと雪の女王』という映画を見ていません。でも、映画の宣伝はテレビでよく見ました。すごくヒットしたのだそうです。この映画の『ありのまま』という歌も大流行し、『レリゴー(Let it go) 現象』なるものも現れました。映画を見た知人の一人は「とても良かったよ。ゆありのままで(Let it go)のシーンがすごかった」なんておっしゃっていました。そういえば、映画の影響か若いも若きも「レリゴーレリゴー」と両手を広げて歌っている様子がテレビに映し出されています。

さて、かつて英語のようなものを高校生に教えていたこの私に「レリゴー(Let it go)」の意味を和訳させていただくなら、「放っておけ」とか「あきらめろ」というようなものなんです。「ありのまま」とは少し違うような気がします。結局、この訳は多くの日本人が心の奥底で欲しがっていたものを見事に言い表したビジネス戦略的日本語で、そのイメージとピッチャリの音楽と迫力のある映像とが重なりあい、大ヒットにつながったのではないかと邪推するのは私だけでしょうか。

そういえば、本のタイトルが『ありのまま』に近いものも結構ありますよね。『あなたは、あなたのままでいてください』(鈴木秀子著)、『置かれた場所で咲きなさい』(渡辺和子著)『悩まない あるがままで今を生きる』(矢作直樹著) などなど。かなり売れているんだそう



です。そもそも「あなたはあなたのままでいいですよ」というのは当たり前前のごを言っているに過ぎません。他人からそう言われて、「ホッとする」「慰められる」というのは、きつと「今のままでダメだ」という強い圧力が今の社会にはあるのでしょうか。いや、私たち自身もそういう思いにとりつかれているのかもしれない。

興味深いデータがあります。数年前に文部科学省が発表したものですが、自己肯定感を抱く若者の割合が、欧米に比べて日本は極端に少ないのだそうです。例えばアメリカが約80%で日本が約40%といった具合です。謙虚で内省的な日本人を表しているんだと擁護する意見もあるものの、自分を価値のある人間と認識できない心のありようでは、集団の中でうまく自分を出せないことにもつながるようです。また、周囲との摩擦や他人からの指摘にすぐに落ち込んでしまうこともあるそうです。これを証明しているかのようには、ストレス社会とかウツ社会などと言われ、今なお不登校生徒の割合は高止まり状態ですし、心の問題で会社に

行くことができない人も近年、増加しているようです。

今の日本は、いい加減さの少ない整った社会と云っても過言ではありませんが。その一方で、正確な数字や厳格な時間の縛り、あるいは細かい規則などに取り巻かれる中、私たちが比較され、格付けされ、さらには競争に勝つよう義務づけられる傾向もあります。私たちの住む世の中が精巧なシステムによって良くなっている面もたくさんありますが、息苦しく、窮屈になってきていると私は思えてなりません。

さらに、周囲からの圧力だけではありません。私たち自らが、「他人と比べてどうなのか」という心のモノサシをすく引つ張り出してしまうのではないのでしょうか。もちろん、「一番になるんだ」、「あいつには負けない」など、自分への発憤材料としてはとても効果的であり、成長や発展に貢献することもあります。けれども、私たちは『周囲の人たち』を過度に意識してしまつようです。みなさんも、行為の本質的な善悪を指摘されるより、「そんなことをしているとみんなから笑われてしまいますよ」としつづけられてきた経験はきつとおありになるでしょう。つまり、日本人は周りの存在と自らの対比を徹底的に教え込まれ、その結果、心の中のモノサシは血や肉のようになつていくのです。この副作用として、自らの人生を唯一無二の尊いものだとはせず、周囲と比較するモノサシを使って幸せか不幸せかを確認してしまいがちです。時に他人を見下し優越



養寿寺の阿弥陀さま

感に浸り、時に自らを卑下し劣等感に苛まれる。そんな中で、他人と比較しない「ありのまま」とは、カラカラになつた私たちの心に水を与えてくれるような、とってもステキな言葉ととらえられているのでしょうか。

仏教とは、『苦しみの連続である人生』をどう生き生きと生きていくかについて洞察を深めていった教えでもあります。言い換えれば、苦しみの多い人生を肯定的に受け入れていく人間の根源的な願いが仏教経典に込められ、その一部は、阿弥陀さまとこの世界の教えとなつていきました。阿弥陀さまの世界とは、比較や評価のない世界であり、阿弥陀さまの願いとは、まさに「あなたはあなたのままですばらしいのですよ」というものなのです。

人生は、思い通りには展開しません。病気や事故や災難など様々な『第一の矢』は私たちの身に否応なしに飛んできます。この『第一の矢』を未然に防ぐことなど無理な話です。その『第一の矢』によって心が折れてしまうことを『第二の矢』とするなら、阿弥陀さまの世界を信じる心は、きつと『第二の矢』の被害を食い止め、生き生きと生きることにつながるはずですよ。

(住職記)

アジアの仏教国を訪ねて(7)

横尾 明親

(略歴)

真宗大谷派教師
現在は龍谷大学大学院で仏教を研究するがたわら仏教国を訪れている。



バングラデシュの少数民族仏教徒

インドで生まれた仏教が、イスラム勢力の進攻によって彼の地で滅亡したのが12世紀頃といわれています。その最後まで仏教が守られた地域が、インド亜大陸の西側ベンガル地方で、現在は国境がありインドとバングラデシュに分かれています。チベットに仏教を伝えたアティーシャ師も、現在のバングラデシュの出身です。



托鉢の様子



バングラデシュお寺の法要の様子

バングラデシュは面積が日本の4割ほどですが、人口は1億5千万人を超え、ガンジス川などの河口に開けた平地にあるイスラム教を国教とする国です。アジア人で最初のノーベル賞を受けたタゴールはベンガル語の詩人として有名で、現在のバングラデシュの国歌もタゴール作詞のもので、最近日本では、タレントのローラさんの国として知られてきました。



バングラデシュお寺の様子



バングラデシュ(外務省HPより)

人口の9割がイスラム教で、仏教徒は1%以下です約100万人くらいといわれています。南東のチッタゴン高原を中心に少数民族の地域があり、10月に多くの寺院を訪ねて、その仏教徒の生活を見てきました。

英国の植民地前には、ほとんど消滅状態にあった仏教は、植民地支配に反対する運動の中で復活し、スリランカ、ミャンマー、タイの影響で、上座仏教が信仰されています。少数民族としては、バルワ族、マルマ族、チャクマ族、ラカイン族などがあり、伝統や儀礼は異なるものの、仏教徒としての共通性も多くあります。パーリ語の経典を読んだり、僧侶が227の戒律を守り、在家者が布施によって功德を積むことは上座仏教に共通しています。

民族的な共通性として同姓であることが多く、名前を聞けばその民族がわかるようです。顔形もそれぞれの民族の特徴があるようで、私もチャクマ族の若い沙弥から礼拝され、同じ民族の僧侶と見られたようでした。また、ミャンマーを川を挟んで暮らすラカイン族は、儀礼も経典もミャンマー語で行っており、寺院の構造も高床式で他民族とは異なるスタイルを持っていました。

少数民族ではミャンマー系が多いのですが、独自の言語や服装、焼畑耕作での移動生活の伝統もあって、政府によるイスラム教徒の入植政策から土地を奪われることも多く、都会に出て行く若者も多いのが現実です。首都ダッカにも大きな仏教寺院があり、チッタゴン出身の多くの人々が訪れて、仏像の前で礼拝や瞑想をしていました。

自己の信仰を守ることに困難とその努力には、考えることが多くありました。

【お知らせ】横尾さんは、今年からスリランカの大学で日本語を教えられることになりました。いままで、アジアの仏教国をご紹介していただきましたが、残念ながら今回をもって終了させていただきます。なお、スリランカの様子をスリランカから横尾さんに伝えていただくことを考えております。(住職記)

みんなのお寺 養寿寺

一・書いて学ぶ正信偈 蓮華の会

九月から新しく始めた「正信偈を書写していただきながら学ぶ集い『蓮華の会』」に八名の方がご参加され、予定していた六回の集いをつつがなく終えることができました。お寺という特殊空間で心落ち着いて書写に取り組んでいただけではないかと思えます。なお、次年度以降もまた、題材を変えて『蓮華の会』を企画していきたいと思えます。



ヨガ体験講座の様子



書いて学ぶ正信偈 活動風景

二・体験 ヨガ講座(骨盤調整)

二月三日(火)と三月十日(火)

午後一時から七〇分参加費一回千円
講師 池浦麻理子先生

呼吸法を取り入れ、骨盤のゆがみを整え全身のリンパの流れを良くするヨガ体験です。ヨガは古代インド発祥の修行法で、心にゆとりや落ち着きをもたらす効果があると言われていました。今回はヨガインストラクターの池浦先生をお招きし、体験レッスンを2回実施することを企画しました。お問い合わせや参加ご希望の方はお寺までご連絡ください。(☎ 五二一四四七〇)

当日は、運動のしやすい服装でバスタオルをご用意ください。

三・御仏供米料のご寄付について

今までお寺や花園仏教世話会などの活動基金として御仏供米料を花園自治区を通じて集めてきました。しかし、政教分離の観点よりこの形式を取りやめ、来年度からは養寿寺とご縁のある方にご協力を依頼することとなりました。変更することや御仏供米料の集め方について住職、養寿寺総代と花園仏教世話会代表メンバー計十人で検討を重ねております。

何卒、皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。



御仏供米料ご寄付 検討会の様子

平成二十七年度 年忌 早見表

一周忌	平成二十六年	逝去
三回忌	平成二十五年	〃
七回忌	平成二十一年	〃
十三回忌	平成十五年	〃
十七回忌	平成十一年	〃
二十回忌	平成五年	〃
二十七回忌	平成元年	〃
三十三回忌	昭和五十八年	〃
三十七回忌	昭和五十四年	〃
四十三回忌	昭和四十八年	〃

四十七回忌・・・昭和四十四年
五十回忌・・・昭和四十一年

年忌法要のことはもとより、ご自宅の仏壇のこと、お布施のことなどご相談いただくことも仏教に触れていただくことに通じると思いますが、遠慮なくご相談ください。

☎(〇五八五)五二一四四七〇

本年度 御依頼割当のご報告

本年度 本山からの御依頼額
一〇〇万八千六百円

(同朋会員志四万二千五百円含む)

みなさまのおかげをもちまして、早期に、しかも、御依頼額を遥かに上回る額(約一二五%)を納めることができました。心より御礼申し上げます。

なお、この本山御依頼割当(経常費)につきましては、本山収骨・院号申請に対する御懇志を充てさせていただいております。

(一) 本山須彌壇収骨

久松すえ子様 大森夏代様
樹神 守様 水谷 猛様
牧野友子(養寿寺前坊守)

匿名希望の方一名

* 一体 十二万円のご志納

(二) 院号申請

中司繁広様 市石康男様
池田全輝夫様 水谷 猛様
匿名希望の方一名

(順不同)

* 院号申請 八万円のご志納

(三) 同朋会員志

花園仏教世話方会会計様より

養寿寺施設や備品の
充実についてのご報告

(一) 養寿寺庫裏トイレ工事

六十四万八千八百円

(二) 扇風機四台

三万八千九百八十八円

(三) 本堂椅子十脚

四万一千四百円



女性用 トイレ



男性用 トイレ



扇風機 4台



椅子 十脚



焼香台



パソコンとソフトウェア

(四) 焼香台

四万円

(五) パソコン+ソフト

十六万五千円

なお、物品購入並びに施設充実のための費用については主に養寿寺に御志納いただいた祠堂金より支払っております。本年度は、

寺田重雄様 寺田久子様

都築和夫様 野村昌美様

樹神文一様

右記の方より祠堂金を御志納いただきました。心より御礼申し上げます。

本年度七月から十二月までの
主な行事ご報告

一・法話会

九月四日に花園仏教会世話方会主催の秋の法話会が養寿寺庫裏で行われました。参加者は五十七名(前年比三名減)。講師は、堀田護先生でした。

十月三日には、養寿寺同朋会主催・花園仏教世話方会協賛の秋の法話会を執り行いました。参加者は五十二名(前年比二名増)。講師は、伊奈祐諦先生でした。また、来年度の同朋会役員の方もご参加いただき、新旧合同でお斎(昼食)の準備をしていただきました。



法話会準備 おみぎの様子



暁天講座 お話の様子

二・暁天講座

八月の六日〜八日の三日間、暁天講座を執り行いました。一日目が豊田市願正寺の鶴見榮鳳先生。二日目が愛知教育大学教授の鷹巣純先生。地獄絵図について興味深いお話をしていただきました。三日目が三菱UFJ信託銀行の佐藤知明先生。『終活』をテーマにお金にまつわるお話をしていただきました。今回、参加申込者数が一〇四名になり、養寿寺暁天講座参加人数としては今まで一番多くなりました。来年度、暁天講座を『こころの元氣塾』と名称変更し、さらなる充実を図りながら実施していく予定です。また、大谷派僧侶にこだわらずいろんな分野でご活躍の先生にお話しいただくことを考えております。

三・永代祠堂法要

九月二十三日(火) 養寿寺永代祠堂法要を厳修しました。この仏事は、仏の教えが永代までに伝わることを願い寺院護持にご支援いただいた方への感謝の法要であり、参詣される方々にと

っては、大切な方が亡くなられたのを機縁として祠堂金を納めていただきますので、亡き人の追悼法要の意味合いがあります。本年度も該当の方には連絡申しあげたところ、八〇名以上の方にお参りいただきました。法要の後、法話の部では、三重県正實寺住職、藤元愛吉先生「いのち、みな生きられるべし」というテーマでお話しいただきました。また、お斎(昼食)は、特製の精進料理をお出ししております。



永代祠堂法要の様子



永代祠堂法要 お斎の様子

四・報恩講

十月二十四日〜二十六日の三日間、養寿寺報恩講を厳修しました。今年も、法要の形式は概ね同じで、スクリーンに正信偈を映し、お読みいただきやすくなりました。また、法話については初日は養寿寺住職、二日目は西本願寺の小野正信先生。最終日は和田真雄先生でした。本年度も、永田や仏壇店さんに出張販売を行っていただきました。御志納いただいた方は二〇三名。拙寺報恩講の御志納者数としては過去最高となりました。御志納いただいた金額は、五十九万八千円でした。多くの方々よりご参詣、ならびに御志納賜りましたことを心より感謝申し上げます。



報恩講 1



報恩講 2



団体参拝 本山東本願寺



団体参拝 神戸市 太山寺

十一月二十五日・二十六日、京都本山東本願寺報恩講参拝および研修旅行（一泊二日）に養寿寺から7名の方にご参加いただきました。二十五日の午前の法要にお参りし、伏見の『月の蔵人』で豆腐料理を食べ、宿泊地、淡路島に向かいました。ホテル『ザサンプラザ』で温泉につかり、瀬戸内海料理を堪能し、日頃の疲れを温泉で癒してまいりました。二日目は紅葉で有名な神戸『太山寺』などを訪れ、秋を愛でる旅となりました。来年度も、本山参拝（一日）を予定しております。

五. 高岡組門徒会主催

本山報恩講団体参拝



報恩講 5



報恩講 3



報恩講 6



報恩講 4

また、ご協力いただいた方々にも重ねて感謝申し上げます。次年度以降も内容の充実を図りながら、さらに多くの方にご参詣いただくよう努めてまいります。

八. 花園町 地藏盆

今年も八月下旬に、花園町の四力所で地藏



戦没者墓前追悼法要



花園町 戦没者 追悼法要

八月の十四日朝、花園町戦没者墓地での墓前追悼法要、ならびに、十二月八日に花園町戦没者追悼法要が花園町戦没者遺族会主催で執り行われました。養寿寺本堂南側に先の大戦で国のために亡くなられた方のお写真が掛けられています。戦後六十九年が経過しました。この間、あの悲劇は繰り返されておりませんが、非戦の誓いと平和への願いを込めた特別な法要と位置づけ、お寺としてもこの法要を大切にしています。

七. お盆の戦没者墓前追悼法要

養寿寺での戦没者追悼法要



ラジオ体操の様子



正信偈のお稽古

本年度も八月二十二日～二十五日の四日間、朝の六時半から『お寺でラジオ体操とお経のお稽古』を実施いたしました。花園子供会や花園郵便局のご協力により、三十名以上の方にご参加いただきました。正信偈を読むお稽古をしましたが、改めて子どもの習得能力の見事に驚きました。来年度以降は、地域の子どもを対象とした行事も充実させて参りたいと思います。

六. お寺でラジオ体操

お経のお稽古



念珠の持ち方（房は下）



二連の念珠の場合（房は上）

【質問】 数珠の持ち方がよくわかりません。
【回答】 はっきりしないのは、各仏教宗派によってまちまちだからかもしれません。そもそも、真宗大谷派では『数珠』とは言わず『念珠』と呼んでいます。
真宗大谷派の念珠の持ち方は両方の手を輪の中にいれます。左の写真をご覧ください、参考にしていただければと思います。また、時には紐が切れてしまうことがあります。有料ですが仏壇屋さんでも紐を取り替えてくれるはずですよ。

仏事にまつわるエトセトラ



花園町 小松原の地藏盆



ふれあいクラブ前 地藏盆

盆が執り行われました。町の安全を願う道祖神信仰と仏教が融合したものだと言われています。確かに、道が交わる一角や町の入口といったような場所にお地藏さんが立っておられます。町の安全は地域の連携を深めることが大切だと言われています。地藏盆を機縁とし、地域の人がお互い顔を合わせ、話をする事ができれば町の安全に役立つことになるのではないのでしょうか。

平成27年の月までの主な予定ご案内

- 12月31日(水) 除夜の鐘 11時45分から
- 1月1日(木) 修正会 午前0時から 正信偈を読みます。
- 1月4日(日) 養寿寺主催 書き初め会 午前中
- 3月21日(土) 蓮如忌第1日 午後 勤行と法話
法話担当 養寿寺住職
- 3月22日(日) 蓮如忌第2日 午前 勤行と落語 お斎(とき)
午後 音楽法要と落語
落語 笑福亭仁智 師匠 と お弟子さん一人
- 《花園コーラス練習日
2月18日(水)・3月4日(水)・3月11日(水)・3月18日(水)》
- 4月8日(水) 花まつり(甘茶・抹茶をお出ししております)
16時～ 子ども 花まつり(新企画)
- 5月11日(月) 花園仏教世話会主催 春の法話会
講師 西尾市安楽寺住職 伊奈祐諦 先生
- 6月15日(月) 養寿寺同朋会主催 初夏の法話会 お斎あり
講師 岡崎市本宗寺住職 堀田 護 先生

【楽しく学ぶ仏教セミナー】 場所:養寿寺庫裏

日時:毎月最終日曜日夕方6:55~7:50 参加無料
1月25日(日)/2月22日(日)/4月26日(日)
5月31日(日)/6月28日(日)/7月26日(日)



蓮如忌 1



蓮如忌 2



花まつり



法話会



仏教セミナー